



熱海新聞
 熱海市上宿町11-4
 〒413-0018
 電話 0557(81)0648
 電話 0557(81)2134
 FAX 0557(83)3553

伊豆新聞本社
 伊東市鎌田1290-6
 〒414-0054
 電話0557(36)1234

ホームページ
<http://www.izu-np.co.jp/>

オール電化で
 安心・快適生活
 はじめませんか
 エコキュート
 IHクッキングヒーター



旧日向別邸保存会

「文化財見て歩ける町に」

講師に中井会長 月例講演会始まる



中井会長(円内)から旧日向別邸熱海市取得の経緯を聞く参加者=昭和町の起雲閣で



旧日向別邸保存会主催の月例講演会「重要文化財・旧日向別邸を知ろう」が二十六日、熱海市昭和町の起雲閣キャラリで始まった。初回は同保存会の中井正勝会長が「旧日向別邸 熱海市取得のミステリー」と題

して講演。会員と一般約三十人が集まり、旧日向別邸を市が取得するまでの経緯などを聞いた。旧日向別邸は実業家の故・日向利兵衛氏の別荘の離れとして昭和十一年(一九三〇)年に同市春日町に建てられた。その

地下室はドイツ出身の建築家ブルーノ・タウトが設計している。日本に現存する唯一のタウト設計の建築物で、国重要文化財に指定されている。同保存会は、旧日向別邸の維持・保存に取り組む市民有志の会で、本年度発足したばかり。旧日向別邸を熱海市民にもっと知ってもらおうと、来年三月まで連続九回の講演会を企画した。

第一回講演で中井会長は、東京都内在任の篤志家の女性が「熱海に貴重な文化財を残したい」との思いで市に旧日向別邸の購入資金を寄付し、これを受けて平成十六年に市が取得した経緯を説明。当時、市の財政事情などから取得に否定的な見解が多かったことや、建築関係者からの取得に

向けた陳情が相次いだことなどにも触れ、「一般の人が熱心に旧日向別邸を残そうとしているにもかかわらず、その文化財は一部の人に知られていなかった。それがミステリーだった」などと話した。

また篤志家女性の人物や保存会の活動に対するアドバイスの言葉を紹介。「熱海市内には旧日向別邸のほかにも文化財がある。熱海の文化財を皆で掘り起こして、観光客にも見てもらえるようにしていきたい。文化財を見て歩けるような町づくりを考えていきたい」と活動への思いも語った。

次回は八月二十三日夜一時から、市いきいきプラザで開く。テーマは「重要文化財とは 古建

築の見方・楽しみ方」。受講は無料だが、資料代として二百円が必要。問い合わせは保存会事務局の矢崎さんへ(電話0550(3608)7749)へ。